

市長提出議案 議決結果

| 平成23年 第5回 定例会 議 案 名 | 議決結果 |
|---|------|
| 川越市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市役所出張所設置条例等の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市立みよしの授産学園条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市職業センター条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市総合福祉センター条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市心身障害児母子通園施設条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市保育の実施及び保育料に関する条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市ふれあい歯科診療所条例を定めること 主な内容① | 原案可決 |
| 川越市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例を定めること | 原案可決 |
| 川越市学童保育室条例の一部を改正する条例を定めること 主な内容② | 原案可決 |
| ふじみ野市・川越市学齢児童・生徒の一部の教育事務の委託に関する規約の変更 | 原案可決 |
| 川越駅西口第一自転車駐車場等の指定管理者の指定 | 原案可決 |
| 彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少 など2件 | 原案可決 |
| 川越市道路線の認定 | 原案可決 |
| 平成23年度川越市一般会計補正予算(第3号) など3件 | 原案可決 |



定例会では21件の議案を審議しました。

市長提出議案

主な内容① 「川越市ふれあい歯科診療所」の設置

診療開始：平成24年4月から(予定)
場 所：川越市大字小ヶ谷817番地1
総合保健センター1階

※障害者(児)への歯科診療を基本とし、これまでと同様に一般の方への診療も引き続き行います。

主な内容② 学童保育料を月額8千円にします。

学童保育料の徴収を開始した昭和62年以来、月額3千円に据え置いてきましたが、運営費が年々増加していることから、値上げを行います。

※保護者負担の急激な増加を避けるため、平成24年度は5千円とし、その後27年度迄毎年千円ずつ段階的に引き上げていきます。

市 政 報 告

▼新斎場建設予定地の一部区域の見直し



平成23年2月に選定した川越市新斎場の建設予定地について、一部地権者の同意を頂けないことから、新斎場の建設を早期に実現するため、建設予定地の区域を一部見直しました。


▼市内循環バス「川越シャトル」の見直し

学識者、市民公募委員、関係機関等で組織する市内循環バス「川越シャトル」諸問題検討委員会からの提言に基づき、路線の見直しを行いました。

来年度から、運行路線を19路線から10路線に縮小し、土日ダイヤを導入する等、利用状況やニーズにあったサービスの提供を開始できるよう、関係機関と協議を進めているところです。

市政に関する 一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。



P川越21 石川 智明
シャトルは高齢者の足

問 全体の3分の2以上の路線が廃止されるシャトルの路線見直しは、大きな交通空白地域を生み出す。十分な代替案の無い路線の廃止は撤回すべき。

答 市長 今回の見直しについては、市民の代表も入った委員会の中で交通空白地の影響が最小限となるよう検討を行ってきた。限られた財政の中で、サービス給付と税負担の

問 バランスを考慮しながら、「分かりやすく・利用しやすい」シャトルバスを目指していきたい。見直しを機動的に進めるため、地域公共交通会議を立ち上げ協議を行い、さらにはデマンドバスなどその他の手段についても国庫補助等の活用も視野に入れ検討していきたい。


答 電力の地産地消

問 川越シャトル

問 ふれあい拠点施設ホールでは、1グループ1回利用当り約128万円市から負担してもらう計算になるが、市はこの金額を妥当と捉えるか。

答 文化スポーツ部長


利用者負担コストは、利用者の数や管理運営費等の増減により変動するものである。市民にとって魅力的な施設を建設し、顧客満足度が高くなるよ



会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
図書館等では二月下旬頃、議会HPでは三月上旬頃、閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／出張所／議会事務局
情報公開窓口（東庁舎）




会派名 議員氏名
一般質問の表題

問 (質問の要約)

答 (答弁の要約)

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。




やまびき委 中原 秀文
利用者受益の妥当性

問 行政の無料入浴施設は民間（銭湯）の経営を圧迫している。民間の入浴施設を活用した事業施策は出来ないものか。

答 市長 昔ながらの公衆浴場、いわゆる銭湯が激減した原因は経済力がついて各家庭に風呂を設けるようになったこと、スーパージョウなどの付加価値をつけたものが主流になったことと思われる。

問 公衆浴場の活用


答 川越まつりの課題



P川越21 小林 薫
銭湯の活用をすべきただ!



公明党 大泉 一夫
家族でBBQのできる公園



公明党 桐野 忠
放射能に対する正しい知識

問 子どもへの思いやりや愛情を持ち、放射能被害から守る為に、子ども達への接し方や指導をどう取り組むか伺いたい。

答 教育長 教職員・保護者・地域を含めた社会全体は、放射能に関する正しい知識を持ち、現実的苦労している方々のことを理解することが求められる。子どもが放射性物質の影響を受けやす

問 川越市内で夏休み等に子育て世代の家族が、気楽に安心してバーベキューを楽しむ管理者のいる公園整備を、市はどのように考えているのか。

答 都市計画部長 市内のバーベキューができる公園は、伊佐沼公園、県営の川越水上公園の2公園である。親子の交流、地域の人たちとの交流の場として、バーベキュー広

問 子どもへの思いやりや愛情を持ち、放射能被害から守る為に、子ども達への接し方や指導をどう取り組むか伺いたい。

答 教育長 教職員・保護者・地域を含めた社会全体は、放射能に関する正しい知識を持ち、現実的苦労している方々のことを理解することが求められる。子どもが放射性物質の影響を受けやす